

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	edu.base宇宿		
○保護者評価実施期間	R7年 1月 11日		～ R7年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	R7年 1月 11日		～ R7年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○訪問先施設評価実施期間	R7年 1月 15日		～ R7年 1月 31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 2月 1日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み (※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもや保護者様のニーズに合わせて学校へ訪問して、支援につなげることができている。	・自宅での様子や事業所での様子を見ながら、学校での過ごし方を観察して利用日の関わり方について考えている。	・今後も保護者様や担任の先生から本人についての情報を集めながら、課題解決に向けて連携して支援を行う。
2	訪問の前後に担任の先生と話をしながら、児童についての情報共有や支援の方法を確認することができる。	・授業の前後などに意識的に時間を設けて、できるだけ緊密な連携をすることができるようにしている。	保育所等訪問で伺ったタイミングだけでなく、児童に変動があったときなどに細かく情報共有等行うことができるような体制を整える。
3	日頃から保護者様と連絡を取りながら学校、家、事業所と連続した支援をすることができるような体制を作ることができている。	必要に応じて、LINEや電話などでやり取りをして情報共有や今後も流れについて話している。	今後も連携を強めながら、自宅での関わり方について一緒に考えたり、課題解決に向けて協力をしたりすることができるようにしていく。

	事業所の弱み (※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・訪問先との情報交換の時間が限られている。	・話をするタイミングが休み時間のみになってしまうなど、支援後の意見交換が短時間になってしまう。	・学期の境目やお迎えの際など、時間を見つけ話をする機会を増やしていく。
2	・訪問から保護者様への共有にタイムラグがある。	文章にて様子を伝えているが、細かい部分はモニタリングなどのタイミングになってしまうことがある。	必要に応じて面談をしたり、電話での報告をすることができるようにしていく。
3	・訪問に行く職員が限定されてしまっている。	・入職から間もない職員も多く、学校との関係もあり任せることができていない。	訪問に行った職員からの共有を密にするとともに、今後は他の職員でも対応ができるように工夫をしていく。

公表

## 保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 edu.base宇宿

公表日 2025年 2月 26日

利用児童  
数 4

回収数 2

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	0	1	0	1	特になし	
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	1	1	0	0	特になし	
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	2	0	0	0	特になし	
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	2	0	0	0	特になし	
適切な 支援の 提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	2	0	0	0	特になし	
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思えますか。	2	0	0	0	特になし	
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思えますか。	2	0	0	0	特になし	
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思えますか。	1	0	0	1	特になし	
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思えますか。	2	0	0	0	特になし	
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思えますか。	2	0	0	0	特になし	
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思えますか。	2	0	0	0	特になし	
保護者への 説明	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	2	0	0	0	特になし	
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	2	0	0	0	特になし	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	1	0	0	1	特になし	
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていていると思えますか。	2	0	0	0	特になし	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	2	0	0	0	特になし	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思えますか。	2	0	0	0	特になし	

明等	18	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	2	0	0	0	特になし	
	19	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	2	0	0	0	特になし	
	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	2	0	0	0	特になし	
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	1	0	0	1	特になし	
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	2	0	0	0	特になし	
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	2	0	0	0	特になし	
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	2	0	0	0	特になし	
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	2	0	0	0	特になし	
満足度	26	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	2	0	0	0	特になし	
	27	こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	2	0	0	0	特になし	
	28	事業所の支援に満足していますか。	2	0	0	0	特になし	

公表

## 訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

edu.base宇宿

公表日 2025年 2月 1日

利用児童  
数 4

回収数4

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	4	0	0	子どもたちにわかりやすく話している	今後も伝わりやすい言葉を考えながら接していく。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	4	0	0	研修を積んで頑張っている	支援体制の充実を今後も図っていく。
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	4	0	0	誠意をもって回答してくれている	今後も継続する。
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	2	2	0	子どもが落ち着いて来ている	状況を見ながら、より子どもが学習等に集中ができるよう適切な対応を行えるようにする。
5	事業所からの支援に満足していますか。	3	1	0	もっと連携しても良いと思う	今後も保育所等訪問の機会を設けていく。
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・参観をしていただいたときには、子どもが落ち着かないようだった。その点を察知されて廊下から参観されたことがありました。適切な対応だったと思います。</li> <li>・いつもありがとうございます。</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も訪問をしたときの子どもの反応の変化を見つつ、適切に対応ができるようにしていきたい。</li> <li>・高く評価していただいている部分を今後も継続し、更に満足のいく支援ができるようにしていきたい。</li> </ul>	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	edu.base宇宿	公表日	令和7年 2月26日
------	------------	-----	------------

	チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境・運営・体制整	1 訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	<input type="radio"/>		特に必要な物はなく、児童の様子や学校での様子の共有など、直接話しを行っている。	今後、教具教材の必要があった場合は早急に対応する。
	2 利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		1人の児童に対し、1名～2名の職員で対応を行っている。	同じ職員が継続して行う場合、担当を変えながら支援を行っていく場合をしっかりと考えながら対応を続けていきたい。
	3 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		職員間で会議の時間を設け、振り返りや今後の支援について話し合いを行っている。	送迎の際や電話等、保護者から得た情報などを職員間で共有し統一した支援が行えるようにする。
業務改善	4 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		連絡ツールを活用し、意見等をお聞きできるよう	意見をもとに改善のための取り組みを行っていく。
	5 従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		話し合いの時間を設けたり、改善策を考えたりする時間を作るようにしている。	意見を言いやすい雰囲気づくりを行っていく。
	6 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>	第三者による外部評価を行っていないため、今後、行っていきたい。	外部評価を取り入れていく。
	7 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		月に1回は研修の機会を設け、情報の共有も行っている。	スケジュール調整を行い、全員が参加できるようにしていく。
適切な支援の提供	8 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		保護者や関係機関とも連絡を取り合い、客観的に分析をしながら支援計画の作成を行っている。	引き続き、アセスメントを適切に行っていき、課題を客観的に分析していく。
	9 保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		職員間で情報共有を行いながら、一人ひとりの理解を深め、課題を考えながら支援へと繋がるようにしている。	引き続き、会議の時間を設け、より良い支援に繋げていけるようにしていく。
	10 保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	<input type="radio"/>		授業の合間の時間を頂いているため、事前に聞いておきたい事をまとめてから聞いている。親と学校それぞれのニーズを仲介して伝えている。	次の授業の準備等があるため、積極的な情報交換が難しいため、別の時間で電話連絡を行う等対応していく。
	11 保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		情報共有は都度行い、どの職員でも対応できるように共通理解を深めている。	職員によって差がないよう、今後もしっかりと支援の目的の理解を深めていく。
	12 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		会議の際などに、児童の行動の分析を行い、客観的に状況を把握したり、日々の振り返りを行いながら確認するようになっている。	アセスメントツールを使用し、全職員で情報の共通理解や確認等を行えるようにしていく。
	13 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		具体的内容を踏まえ、支援内容の設定を行っている。	踏まえた上でさらに支援の質を向上させていけるよう努めていく。
	14 保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		情報共有を行い、支援後も振り返りをし、支援を深めていけるように繋げている。	訪問へ行っていない職員でもしっかりと現状把握できるよう伝達を行っている。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>		訪問へ行く職員と事業所に残る職員のスケジュールを確認しながら、それぞれがしっかりと役割を認識できるようにしている。	今後もそれぞれの職員の動きを確認しながら連携をとっていけるよう綿密な打ち合わせを行っていく。

	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>		訪問の様子を細かく職員間で伝え、さらに記録として残している。	記録だけではなく、状況を会議の中でしっかりと共有する時間を設けている。
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	<input type="radio"/>		訪問先の考えや支援の流れなどを事前にしっかりと伺い、尊重して訪問することを意識している。	今後も、事前にしっかりと話をしながら訪問に向けての連携を取っていく。
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	<input type="radio"/>		必ず訪問後は記録を取るようし、全体でも把握できるようにしている。	どの職員が見ても分かりやすいように記録のとり方も意識していく。
	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	<input type="radio"/>		定期的に連絡を取らせてもらいながら、訪問支援の目的が適切かどうか検討するようにしている。	訪問の日程が前回よりも開いた際には、再度状況把握をしっかりと行っていく。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	<input type="radio"/>		児発管や日頃関わることが多い職員などスケジュールを調整しながら、理解している職員が参加するようにしている。	会議で得た情報を職員全体で共有し、全員が理解を深めていけるよう努めていく。
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	<input type="radio"/>		医療機関や学校など連携を取れる体制づくりを行っている。	引き続き、積極的に連携をとれるようにしていく。
関係機関や保護者との連携	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	<input type="radio"/>		情報共有の場があった際には支援内容をしっかりと伝えられるよう、日頃から就学等を意識して支援を行っている。	支援内容や情報の整理を行い、相互理解の場に合わせ、十分な情報伝達ができるようにしておく。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	<input type="radio"/>		研修に積極的に参加し、外部講師に研修等で助言を頂くようにしている。	勤務の調整を行いながら、職員が研修へ参加しやすい環境を作っていく。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	<input type="radio"/>		現状、参加ができていない。	参加ができるよう努めていく。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	<input type="radio"/>		連絡ツールを使い、ご様子や気づいたことなどをお伝えしたり、面談等で共通理解を深めていけるよう努めている。	日頃から相談のしやすい環境・雰囲気づくりに努めていく。
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	<input type="radio"/>		ご様子をお伝えする際に、支援の仕方についてはお伝えしているが、研修の機会などは設けることが現状できていない。	職員やご家族が情報交換ができる場や、参加できる研修の機会を作りたい。
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	<input type="radio"/>		契約時に説明を行い、疑問点などはないか確認を行っている。また何か負担が発生する際にもその都度説明を行うようにしている。	引き続き、丁寧かつ迅速にお伝えできるよう努めていく。
保護者等への説明等	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	<input type="radio"/>		訪問前に事前に目的や状況の説明を行い、了承を得てから訪問日程など決めるようにしている。	目的を明確にしながら、訪問先に負担のないよう進めていく。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	<input type="radio"/>		面談やモニタリングを通してお子様やご家族の意向を確認し、計画に反映させていけるよう努めている。	定期的に意向を確認していく。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	<input type="radio"/>		面談等で支援の目的を明確に伝えたり、保護者のニーズをしっかりと把握し、説明を行い同意を得るようにしている。	今後も定期的に支援内容を見直ししながら、状況にあった支援を行っているようにする。
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	<input type="radio"/>		モニタリング時に悩み等がないか伺ったり、連絡ツールなどを活用し、何かあった際には電話や面談等を行い話の傾聴や助言ができるようにしている。	いつでも相談しやすい雰囲気や体制づくりを行っていく。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	<input type="radio"/>		夏祭り等のイベントで交流のきっかけづくりを行った。また、今後は保護者会の計画を立てている。	参加のしやすい日程や場所の検討を行っている。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	<input type="radio"/>		連絡ツールを活用し、相談の申し入れがあった際には迅速に対応を行い、職員間でも情報共有を行っている。	迅速に対応を行っていけるよう、職員間でもしっかりと業務の連携を図っていく。

	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	<input type="radio"/>		SNSを活用し、日々の活動の様子を発信するようにしている。	今後も個人情報の扱いに十分留意しながら発信していく。
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	<input type="radio"/>		職員間での情報共有の際には情報の扱いには十分留意するよう意識している。	SNS等も含め、今後も個人情報の取り扱いには十分留意していくよう努めます。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	<input type="radio"/>		どのような場面で配慮が必要か状況を見ていながら、意思疎通を図るように努めている。	合理的配慮を引き続き行っていく。
訪問先施設への説明等	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	<input type="radio"/>		送迎時に顔を合わせた際の声掛けや、訪問前の訪問先の状況の把握など連絡を取らせて頂いている。	連絡が取りやすい時間帯などを考慮し、連携を図っていく。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	<input type="radio"/>		普段の状況の再確認や、現状の課題など行うように努めている。対面が難しい場合は電話等で話をするようにしている。	会議の時間等の確保を行っていく。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	<input type="radio"/>		実施後に、記録を行い、保護者へ共有を行っている。必要な場合は記録と共に電話で直接お伝えしている。	引き続き、支援実施前、実施後の連絡や共有を行っていく。
	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	<input type="radio"/>		訪問で得た個人の情報や訪問先の様子など情報の共有は職員間でも気をつけながら扱うようにしている。	引き続き、職員間で慎重に情報の伝達や共有を行っていく。
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	<input type="radio"/>		訪問の前後様子をお聞きしたり、困り事などを把握しながら、次回訪問の時間帯や状況を考えお伝えしている。	今後も、訪問前だけではなく、常に連携を取っていけるようにしていく。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	<input type="radio"/>		発生を想定し、訓練を実施している。	様々な状況を想定した訓練を行っていく。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	<input type="radio"/>		研修や訓練の他に定期的な安全確認を業務として行い、日頃から意識できるようにしている。	引き続き安全管理を徹底して行っていく。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	<input type="radio"/>		事業所内で共有を行い、再発防止策を話し合い実行している。	引き続き共有、検討を行っていく。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	<input type="radio"/>		虐待防止の研修を定期的に行っている。	研修だけでなく、普段の支援の中で都度振り返りなどを引き続き行っていく。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	<input type="radio"/>		研修等を通じて組織全体で決定、周知を行っている。	現在は対象児童がいないため、必要時に備えて情報共有を定期的に行っていく。